

北大・北農研連携による研究内容



課題名: 伏流式ヨシ濾床人工湿地システムによる
 超高濃度排水の再生循環技術の開発 (研究期間: H21~H24)

研究担当者

北大 大学院 農学研究院
 井上京准教授(代表)

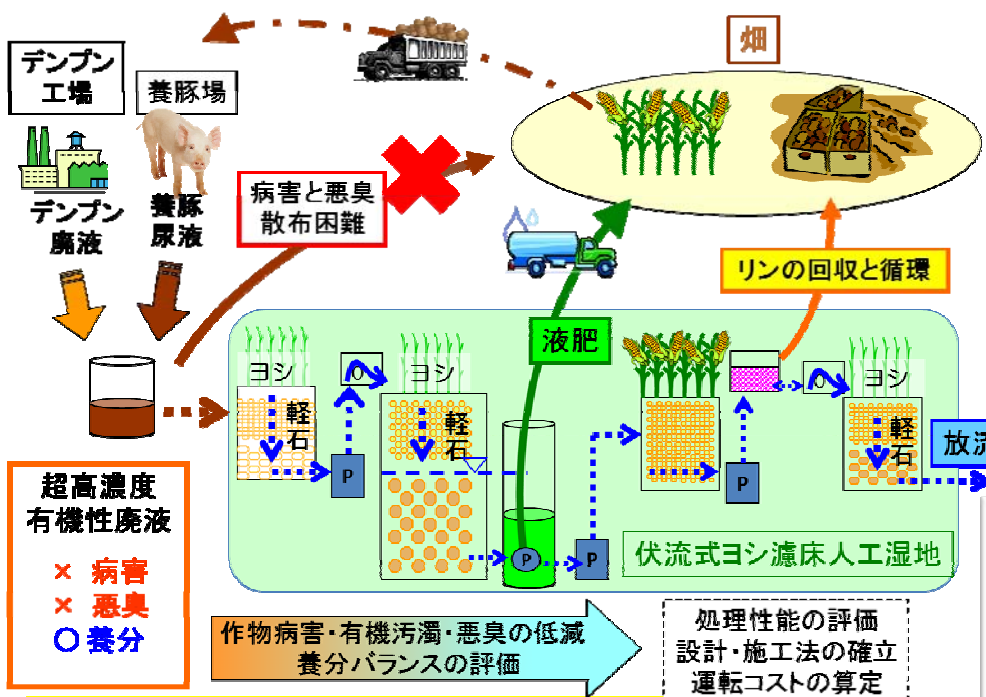
北農研 寒地温暖化研究チーム
 加藤邦彦主任研究員 眞岡哲夫上席研究員
 中山尊登主任研究員 岡崎圭毅研究員

研究目的

➢有機物濃度が極めて高く、水系汚濁源となり易いでんぷん工場の廃液や養豚場の尿液を農地還元ができる液肥や河川に放流できるレベルにまで浄化する人工湿地システムの開発。

道東のでんぷん工場や道央の養豚場において、酸化還元構造をもつ伏流式人工湿地システムによる污水浄化の現地試験を実施。
 水質浄化効果と作物病害要因の低減効果の評価と検討、液肥の成分評価、リン回収技術の開発、物質循環の分析評価を行う。

研究内容 (又は主要成果)



現段階での研究成果
 この伏流式人工湿地システムの開発研究により、さらに低コストの排水処理技術が実用化。
 今後多くの場所での普及が見込まれます。

市民公開・農学特別講演会